

# なごやか地域福祉 ニュース

2014.9  
第10号

発行：地域福祉に関する計画策定事務局

## 担い手とキーパーソンとなる人材の不足

### いま何が課題となっているのか。

地域福祉活動の担い手が不足しています。また、地域福祉活動の中心となるキーパーソンに負担が集中しています。



#### ●身近な地域への意識の問題

策定委員会では、「ボランティアはしたいが、地域活動には参加したくないという人が増えている」、「災害支援のような一大事へのボランティアには積極的だが、身近なところへの意識が出てこない」という意見が出ています。

身近な地域に親しみ、地域での活動に積極的に参加しようといった意識の醸成が必要です。

#### ●活動のPRと活動の参加条件や環境整備の問題

市民へのアンケート調査では、担い手として活動に参加することの意向について、「条件や環境を整えば参加したい」との回答割合が47.1%ありました。参加の条件を工夫するとともに、「担い手」と「担い手を必要とする側」のマッチングなどの環境整備が、課題です。

#### ●キーパーソンを支えるための体制の問題

地域福祉活動の中心的な担い手として、活動の中心となって取り組んでいる、いわゆるキーパーソンは、町内会の役員や地域福祉推進協議会、ボランティアグループ、NPOなどのメンバーから、行政が委嘱した区政協力委員、民生委員・児童委員、保健委員までその立場は様々です。そのキーパーソンに活動の負担が集中していると言われており、引継ぎ手が見つからないなどの問題が指摘されています。

## 第5回専門部会を開催しました。（8月21日午前10時から正午まで）



【主な議題】計画の文案（素案）の検討

【主な議論】

- 大規模災害に対する切迫感をもっと表すべき
- 活動者等が迷ったときに立ち返る計画でありたい
- 小学校区ごとの推進協の認知度向上を目指したい
- 生活支援コーディネーターを記載すべきでは

公式ホームページでは、計画の策定状況を順次お知らせしています。

名古屋市地域福祉に関する計画

検索



## 専門部会委員からのメッセージ



～計画策定に関わるにあたって～ 富田捷治委員（市民委員）

居住地である中区社協の（第1次～第3次）「地域福祉活動計画」と、数年前の名古屋市「地域福祉計画」とで、今回で通算5度目の市民策定委員に就任させて頂いたわけであるが、今回の自身の参画ポイントは、以下の通りとすることで臨んだ。

残念ながら、グローバルに進行する経済諸制度の変化が産み出した『格差社会のひずみ是正』と国（中央政府）の福祉諸制度の『狭間是正』を埋める制度こそ、自治体（名古屋市）に求めるべきであろう。言うなれば、（国の）制度（レンガ）と（名古屋市の）制度（レンガ）との隙間をつなぎ、それぞれを補完させる『パテ』の役割こそ『地域福祉』の真骨頂であるべきであると考えている。少子高齢社会の進行が「行財政の逼迫・委縮現象」をもたらす一方、家族の在り様の変化が、生活基盤の変容となり、福祉課題は従来型から重層化と複雑化と確実に変容してきている。時代と制度がどう変わろうとも、市民の生活は、絶対的にも相対的にも守られなければならない。この原理原則を政府（中央も地方も）は守り、市民の幸福の実現に邁進する責務がある。「国防」と「外交」は中央政府の専決課題であるが、市民の幸福の実現（民生）は、中央・地方の両政府の分担責務である。その観点から、「地域福祉パテ論」の根拠であり、その実現こそ「日本版ブータン国家型幸福の実現」の王道であることを切望する一市民でもある。



～「計画の策定作業の感想」～ 日比野勝委員（市民委員）

策定作業に関わり、高齢者・子育て・小学生の福祉教育等の現場見学で意見交換し問題点を確認。

私の一番関心事は、市内全小学校区にある「地域福祉推進協議会」、住民が主体的に福祉活動を進める組織ですが、市民アンケートで活動内容を知っているが10.6%でありました。協議会委員の皆さんがいろんな活動をしているが、学区の皆さんに活動が見えてなく参加者が限られている、現状打破することが必要と考えます。又役員になり手がなく、現在の役員の皆さんが長く活躍をして頂いています。これからの時代、団塊世代が地域に帰ってきます、地域でお帰り団塊世代とのイベント開催を市役所・区役所・市社会福祉協議会・区社会福祉協議会・企業・各種ボランティア団体等の共催企画し、世代交代を地域で進めなければ行けないと思います。地域福祉とは自分と地域との関わりで、ご近助力アップで住みやすい町内、そして住みつづける町内・学区にしなければと思います。

今後の問題点は、介護保険の改正で要支援1・2の方へのサービス提供が変更されます。その人たちの受け皿としての地域力が問われる時代に、地域の組織・ボランティア団体等の活用できるシステム化を早急に作り上げないといけないと思います。



## 会議傍聴のお知らせ

「第3回策定委員会」10月20日（月）午後2～4時 場所：名古屋市役所5階正庁  
予定議題 地域福祉に関する計画の文案について ほか

（この会議は、10名まで傍聴することができます。当日受付午後1時から1時45分現地。）



【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2547 / Fax 052-955-3367